

GIGA活用の実践事例

ICTを活用して個別最適化学習をします。完成したレポートにコメントをつけ合う活動です。

各自が自分の進度に合わせて取り組んでいく授業となります。

レポートが未完成の生徒はレポートを、完成した生徒はコメント付けを進めることで、各自で活動を進めました。



リンクをクリックしてクラスメイトのレポートにコメントをつけに行くことができます。

実際にレポートにコメントがついている様子。

3.調査の結果

①『進化する勉強法』(58P～61Pから引用)
実験方法：8歳～12歳の小学生達が3通りの方法でそれまで習っていない漢字の勉強をする

方法一 学習をしてから漢字の形のみを思い出す
方法二 学習をしてから漢字の読み方のみを思い出す
方法三 学習をしてから漢字の形と読み方を同時に思い出す

結果：方法三 学習をしてから漢字の形と読み方を同時に思い出すが、一番学習後のテストの正答率が高かった。(左の図)

つまり漢字の形と読み方を同時に勉強できるように音読しながら漢字を勉強すると良い。

②AIモードを使う
GoogleのAIモード『効果的な漢字の勉強法』と調べ、ネットの情報を簡単にまとめてもらう

1.読みを重視して、見る学習を取り入れる

いきなり書く練習をするのではなく、まずは正しい読み方を覚えることが重要。問題集などで漢字を1分間見て覚え、その後、テスト形式で書く練習を繰り返すことで、効率的に覚えることができる。

2.分散学習とテストを繰り返す

漢字の反復練習は、一度に詰め込むのではなく、間隔を空けて複数回行う方が記憶に定着しやすい。また、単語カードやノートを活用して、書けなかった漢字を定期的に見直す自己テストを行うと効果的。

3.就寝前の時間を利用する

記憶学習は、就寝前に行うのがおすすめ。寝ている間に記憶が整理・定着されるため、寝る直前に暗記したことは記憶に残りやすくなる。

等

4.考察

GoogleのAIモードに書いてあったことは『進化する勉強法』の2章(90P～172P)にも同じようなことが載っており、暗記が重要な漢字では有効であることがわかった。『進化する勉強法』に書いてあることは、

参考にしたものやわかりやすい表を載せていてめちゃくちゃすぐ分かりやすかった

出た結果を更にまとめているのでわかりやすい。

調べていることを詳しく書いていていいなと思いました。

文が長々とならずに完結に済ましているのでもわかり易い。

生徒がコメントをつけ合っている様子



より詳しいグーグルクラスルームでの課題の出し方

Google Classroomの課題を出して、その課題フォルダーを生徒同士が閲覧できるように設定をして、リンクを公開する方法です。

まず、課題を出します。

× 課題

保存済み 割り当て

タイトル*

ポスターを作りなさい

*入力が必要です

課題の詳細（省略可）

B I U 色 背景色

無題のドキュメント

Google ドキュメント

ファイル共有オプション

各生徒にコピーを作成

×

添付

ドライブ

YouTube

作成

アップロード

リンク

対象

3 A

割り当て先

すべての生徒

点数

100

期限

期限なし

トピック

トピックなし

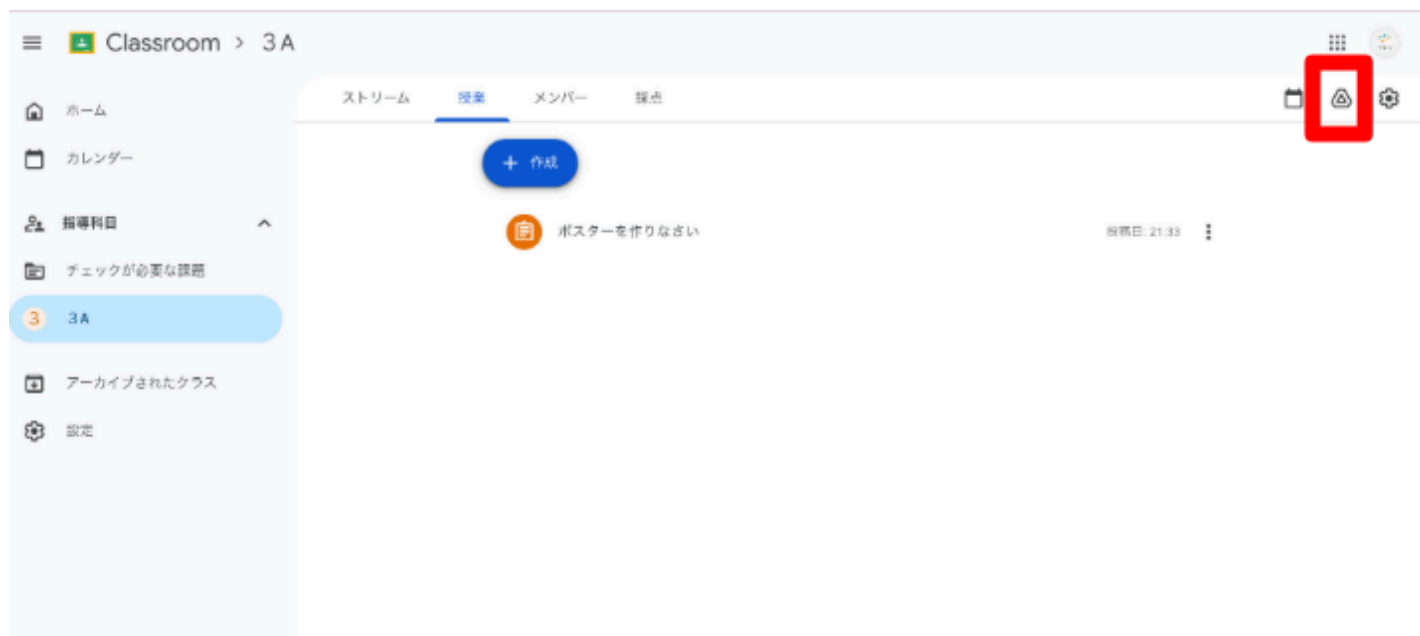
ループリック

+ ループリック

?

?

課題を出したら、右上のドライブマークをクリックします。（歯車マークの左です）



すると、Classroomのフォルダの中に3 Aのフォルダがあって、その下にポスターを作りなさいフォルダができます。



今回は生徒がいないので、中には何もありませんが、この「ポスターを作りなさい」フォルダーの下に生徒の提出物のファイルがまとめて作成されてます。今回はドキュメントファイルを課題にしましたので、例えば30人のクラスだったら30人分のドキュメントファイルが出来上がります。

後は、このフォルダの閲覧権限を組織内はOKなどにして、そのリンク先を課題のところに貼り付けるなどすれば、生徒同士がお互いに自分の作品を見合うことができる環境が整います。